

交換留学(派遣) 帰国報告書

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	Queens College, City University of New York
留学先での所属学部・研究科:	特になし
留学先での在籍身分:	交換留学生
留学期間:	2019年8月21日～2020年5月22日
神戸大学での所属学部/研究科:	国際人間科学部
学年(出発時):	3
帰国日:	2020/3/20
本報告書記入日:	2020/6/22



1. 留学先大学について

1-1	学年開始月日:	8月26日
	学年終了月日:	5月22日
	学期:	①8月26日～12月20日
		②1月27日～5月22日
	③ 月 日～ 月 日	
	④ 月 日～ 月 日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	幅広い分野の学業が学べるリベラルアーツ系の大学。1年目はいろんな授業をとって2年目以降に専攻を決める人が多い。
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	特に利用しなかった。教授は語学力について成績を考慮してくれるが、こちらから申し出る必要あり。
	勉学面でのサポート:	Writing Centerがあり、エッセイの添削をしてくれる。
	精神面でのサポート:	カウンセリングのサービスがあったと思うが利用していない。
	住居・生活面でのサポート:	キャンパス内に寮がある。寮費はかなり高いので大学の近くでシェアハウスしたりアパートを借りた方が安くつく場合が多い。
	課外活動のサポート:	インターンシップの宣伝を頻繁にしている。また、セメスターの最初にクラブデーがあり、そこでクラブの説明を聞くことができ、入部も可能。
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	クリックで別シートへ
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか?	はい

2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	寮は高い割に部屋が狭いのでコスパは正直悪い。途中解約も原則不可なので入寮するかはしっかり考えた方がいい。NY内のアパートメントのルームメイトを探していたり、賃貸を格安で紹介しているFacebookのグループがあるので、そちらで探すとお得かも。アメリカでアパートを借りる場合、不動産を介すと仲介料が年家賃の13%ほどするので、こちらも考慮する必要あり。私は日系の不動産を利用した。
-----	--------------------------------------	---

3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	アパートに使い放題のWi-Fiあり。
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	月20ドルで使い放題だった。他の住人とシェアだったので早くはなかった。プロバイダーは不明。
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	大学のWi-Fiは全然つながらないことで有名。ほぼ使えないと言っても良い。たぶんアクセス人数とWi-Fiのキャパシティが釣り合いなため接続が難しいのだと思う。ただ、教室によっては高速で使えるところもある。少なくともRathaus Hallでは快適に使えた。
3-2	医療について	
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	いいえ
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	キャッシュパスポートを利用していた。基本的にどのATMでもお金を下ろせるし、クレジットカードとして使えるのも便利。ATM手数料が余分にかかるためお金を下ろす時はできるだけまとまった金額を下ろすのがおすすめ。

4. 経費について(奨学金、留学費用)		
4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	JT奨学財団(大学入学時から給付)
	支給額(円/月):	10万円
	その他(渡航費等の支給):	特になし
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。 (概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	200,000 円
	住居費:	(月額)155,000円 × (留学月数)7ヵ月 + (仲介料)240,000=1,325,000円
	食費:	(月額) 30,000円 × (留学月数)7ヵ月 = 210,000円
	保険料:	50,000 円
	その他:	100,000 円
	合計(留学期間全体の費用):	1,885,000 円
5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	フレンドリー接する反面、プライベートスペースを尊重してくれるところ。一人でいることに対してリスペクトを払うし、逆に助けて欲しい時は積極的にヘルプしてくれる文化がある。また、外見についての意見がタブーなこと。たとえ顔がかっこよくてもかわいくてもそのことについて言及するのは避けた方がよい。髪色やファッションを褒めるのに留めておくべき。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	2年時に語学研修でお世話になったホストファミリー繋がりで仲良くした人が何人かいる。ただ、深い友人関係を持った人は大学外にはいない。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	していない
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	かなりインクルーシブな雰囲気。大学に関しては、中華街が近く、いろいろなバックグラウンドを持つ人が集まるので差別は全くない。治安も大学の周りは安全。ただ、南に行けば行くほど治安が悪くなるので注意が必要。ニューヨーク市全体の話をする、治安は良いと言える。屋外の飲酒が禁止なので街中でのトラブルもほぼ見かけなかった。もちろん治安が良いからといって気を抜いていいというわけではないが。
6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	ボストンキャリアフォーラムに行った。説明会目当てで行ったので面接は受けていないが、いろんな企業の若手社員とフランクに話すことができたので良い機会になった。また、アメリカ中の日本人が集まるので、優秀な人を間近でみれるため刺激にもなる。
7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	日本人向けサイトだと、MIX Bが良かった。
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	基本的に日本の製品はアジア系スーパーや日系スーパーで買える。ただ割高なのでよく使うものは持参したら良いかも。
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	語学力は向上した。ただ私の場合は授業外で個人的に英語、特に発音を勉強し直し、友達と話すことでアウトプットしていたので、もし主体的になれなければ必ず語学力が上がるとは限らない。アメリカ、特にニューヨークは本当にいろんなことをしている人が多いので、就活がゴールという画一的な考えは無くなった。アジア系アメリカ人のアイデンティティについての見識がかなり深まった。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:(TOEFL IBT) 78点 → 帰国後:() 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	コロナ禍による緊急帰国。NYでの感染が広がっていたため出来るだけ早く帰国しようと思い、大学から連絡が来た2日後のフライトで帰国した。2日間で荷造りと諸方面への連絡、QCとのやりとりをしていた。かなりバタバタしたがなんとか間に合い、無事帰国することができた。カナダや西海岸への旅行をキャンセルしなければならなかったのは心残り。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	要望は特になし。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦める。NYは世界の縮図なので、手っ取り早く社会の動きを学べ、文化理解を深めることができる。自分の可能性を広げたい人、もっと広い世界を知りたい人にはかなり薦められる。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。 (5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)	
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	4
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	2
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	3
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	3
	・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか	1
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	4
・留学全体の総合的な評価	5	

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)

欲を言えば、もっとアクティブに動けば良かったと後悔している。留学中にスポーツコミュニティに入ろうとしてダラダラしていたところにコロナの影響で帰国令が来てしまった。留学中、もし何かしたいことがあれば躊躇せずすぐ行動した方が良い。留学期間は長そうに見えて短い。あっという間に時間が経つのが現実である。もちろん休息も大事だが、行動することも重要である。たくさんの人に出会って、自分の価値観をより豊かにするのも留学の醍醐味の一つなので、積極的に外に出ることをおすすめする。

もう一つは、必死に勉強することだ。留学先の授業は日本とはだいぶ異なる。少なくともアメリカは授業がしんどい。ただ、何かに一生懸命になれるチャンスだと思えば、なかなか良いタイミングではないかと感じる。受動的に参加している授業から得るものと必死になった授業から得るものは違う。死ぬ気で勉強することで見えてくるものもあるし、単純に知識の専門性がグンと増す。せっかく本気で勉強する機会があるのなら、ぜひ頑張りたいと思う。

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Textiles	Ceci Allegra	3時間	3	English	25	課題は少ない。授業も比較的簡単。ただ膨大な知識が一気に入ってくるので見やすい板書を取るべき
2	Fashion History: from 20th to the present	Emily Ripley	3時間	3	English	25	予習復習はした方がよい。小テストがかなり難しい、というか暗記量が多いのでしっかり準備して臨むべき。
3	Individual and Family Clothing Problems	Emily Ripley	3時間	3	English	9	毎週のリーディングがかなり難しい。抽象度の高い内容なので予習に時間がかかる。ファッションが本当に好きじゃないとやっていけないと思う。
4	American History from 1865	Bobby Wintermute	3時間	3	English	40	基本テスト評価。オンラインの小テストは教科書を参照できるので点数は取りやすい。
5							
6							

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

履修している生徒が100人を超えるクラスも中にはあるが、基本的には30人ほどで授業を受ける。成績は出席もしっかり見られる。また、毎週課題がある授業がほとんどなので、第一として目の前の課題に誠実に取り組むことが大事。
一回も話したことのない生徒であっても、快く助けてくれる人ばかりなので困ったら遠慮せずに相談しよう。もちろん先生も親切なので、存分に活用すべき。